

住民と議会の意見交換会

(平成 27 年 11 月 6 日ハワイアロハホール)

【開会時間 午後 7 時】

寺地委員長 (あいさつ) 第 4 回となります議会報告会並びに意見交換会に大勢の方においでいただきまして、誠にありがとうございます。私、本日の司会進行をさせていただきます、議会運営委員長の寺地でございます。どうぞよろしく願いいたします。本日は、各常任委員会の取り組み、ぜひ知っていただきたいという事項の報告、また今日的な課題でございます地方創生についても、意見交換ができればと思います。また議会と行政についても、日頃皆さん方が考えておられる点について、御意見等がありましたら、お聞かせいただきたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。それでは、開会にあたりまして光井議長が御挨拶を申し上げます。

議長 (あいさつ) 今日は大変お忙しい時間帯に集まっておきましてありがとうございます。顔ぶれを見ますと女性が一人だけでさみしいなと思いつつ、それと若い方がもうちょっと出てきてくれたらいいのかなと思いつつ。これは議会の方がそれだけ努力してないと言われれば、そういう事になるのかなと思いつつ。今日はこれからそれぞれの常任委員会でどういう事をやってきたかということをお話しさせていただくと、その後に総合戦略に入っていきたいと思いつつ。総合戦略は漠然としており、非常に難しいなというのが正直なところ。皆さんに振り返っていただきたいという事が、2、3 ありますので、聞いていただきたい。人口の話がやたらと出てきて、人口が減っていく、少子高齢化だと、現状は大変だと言うが、その原因は何だったかという事。いろんな考え方があるだろうが、1974 年、今から 41 年前に日本人口会議が開かれている。その当時子どもは 2 人までというものを作った。これはなぜかというと、簡単に言うと世の中が非常に不安定になって、世界が不安定になって、オイルショックも同じときに起こっている。41 年前ですから団塊の世代が結婚をし始めるころ。それまでの家族の形態は 3 人 4 人子どもが普通にあった時代。そういう会議があって日本政府は、子どもは 2 人までという政策を植え付けた。今人口が減っているというのは、当然そういう人口構造に日本がなっていくという事が元々の原因ではないかと思う。そういう事を頭に置きながら今の状況を考えないと、40 数年間かかってそういう構造を作り上げてきて、いきなりその構造が V 字型に逆転するかというのは、どうか。その後男女雇用機会均等法が施行されて、少子の問題、子どもをどう育てるかとか、女性の地位を向上させて社会でどう活躍するか組み込まれているはず。それをやってこなかったというのが今、付けが回ってきているのが現状ではないかと思いつつ。もう一つは、一村一品運動というのが始まったのが、1980 年。今言っているような創造事業が、一番発祥で、そのときにやられた。これが全国に広がって、その当時そういう事が既に行われた。皆さんが、まずこれが前提にあるという事を、どう感じられるのかな。これから創生事業に入っていくが、これは 5 年間の限定の話で、5 年間の中に何を入れるかという事が求められている。我々も一生懸命考えながら行政と一緒にやっているが、それ

にも限界があり、皆さんに前向きな話として、いろいろと提言なり御意見をいただければありがたいと思っているので、よろしくお願いいたします。

寺地委員長 それでは始めさせていただきたいと思いますが、この報告会につきましては、議員全員で役割分担をしてあたるという事しております。発表者は各常任委員長が行います。まず、本日出席の議員の自己紹介をしていきたいと思ひます。(議員、事務局自己紹介)

寺地委員長 それでは、お手元の日程に従いまして進行いたしたいと思ひます。河田議会運営委員会副委員長が、資料の説明、日程の説明をいたします。

河田副委員長 (資料、日程の説明)

寺地委員長 それでは、議会報告に入りたいと思ひます。まず、総務産業常任委員長よりお願いいたします。



入江委員長 ①水明荘の経営診断報告。(資料を基に説明) 水明荘の経営状況については、常任委員会において逐次報告を受けながら対応してきた。昨年の平成 26 年 9 月議会の、平成 25 年度の決算審査特別委員会において、代表監査委員の指摘や、特別委員会での意見書によって、執行部に早期の経営診断が必要であろうと促した。それを受け、本年に入り、ビジネスデザイン研究所の中小企業診断士、穂田誠一郎さんを中心とした組織に経営診断をお願いした。5 月 20 日にキックオフして約 2 か月間を費やして、経営診断がまとまった。改善要旨

については、組織の形態については現状を維持するものの、課題になっている事項については、早期に解決する必要があると示された。また、改善計画を基にアクションプランを立てること、3年以内に所要の改善ができない場合は、存続等も含めて抜本的に再考する必要があると示された。改善骨子については、資料に示してあるが、今日で町内3カ所目となり泊、東郷でも示したが、水明荘はサービス業であるが、そもそも一番の根幹となるおもてなしの部分、サービス、職員のスキル、対応、この辺がまず出来ていないのが一番の大きな問題だろうという事。いろんな改善点を基にして、12月いっぱいには執行部、水明荘と一緒にアクションプランをきちんと立てた中で、議会に示していただくようにしている。議会も報告を受けて、改善に向けて一緒に取り組んでいく。皆様の方にも機会をとらえて、議会日より、町報、ホームページで逐次報告をしていきたいと考えている。続いて②農業委員会と総務産業常任委員会の懇談会について。(資料を基に説明)今年初めて農業委員会との懇談会をもった。これは特に田後地区において、今まで大規模な面積を担っていただいた2つの農家さん、約50ヘクタールの面積を耕作していただいたところが同時にやめられ、大変なことだという事もあり、農業委員会を中心にその対応を積極的に図っていただいた。新しい集団農業組織を立ち上げていただいたり、また町内では賄えないところを倉吉市、北栄町の方から、農業法人化している組織にもお手伝いをいただきながら、なんとか耕作放棄地のこれ以上の進展は、現状においては歯止めがかかったと思っている。今後も耕作放棄地対策やイノシシを中心とした鳥獣被害の対応など一緒になって取り組んでいきたいなということを確認した。また、農業者の後継者問題、特に農家のお嫁さん問題、婚活ですね、この辺のこと、それからもちろん農業振興についても、一緒になって取り組んで行こうという事を確認し、年に一度なり二度、そういう懇談を持ちながら一緒に取り組んでいかなければ、耕作放棄地の解消に向けてはなかなか難しいだろうと確認し合った。続いて、③北条道路(はわい～大栄東伯間)の対応方針(案)について。(資料を基に説明)皆さん御承知のとおり、はわいのインターチェンジの部分が、交通安全対策という事で、工事が進んでいる。だいぶ進んでいるところだが、平成27年度第2回の社会資本整備審議会の中国地方小委員会で、一度計画から落ちていたこの事業が復活して、整備する必要があるだろうと確認され、予算のこともあろうかと思うが、早期の整備に向けて国土交通省倉吉河川国道事務所、また県土整備局とも連携を取りながら整備推進に向けて進めたいと思っている。計画等について、議会広報なり町報、ホームページ等で情報を逐次皆様に提供していきたいと思っている。最後になりました④はわいICアクセス道路計画について。(資料を基に説明)昨年度来、報告しており、特に田後地区の福産の辺りから、役場の辺までが朝、夕の混雑が大変厳しいところである。調査をきっちりしてもらい、バイパス道路を検討した中で、はわいインターチェンジへのアクセス道路の整備が必要であると、県土整備局からも示されている。いつ頃かという事は具体的には聞いていないが、27年度中に、12月くらいには、こういう考え方だという事が県土整備局から示されるのではないかと考えている。これは検討委員会を立ち上げられて、ルートを選定、時期、高架にするのか等が審議されるのではと思う。資料の中にマルが描いてあるが、ほぼこういうような中で動いていくのではと感じている。これについては、地元田後、はわい長瀬

含めて特に関係のあるところであり、我々も情報を得たら、皆様の方に報告していきたいと思っている。それと、泊の方からも出ていたが、これをするにより、羽合地区の商工業の中で店の衰退とかがないように、いろんな方策を議会として打ってほしいという話もあったので、これはもちろん考えており、バイパスができることによって便利にはなるが、商工業が衰退しないような方策を、行政と一緒に考えていきたい。皆さんのほうからもいろんな御意見をいただきながら一緒になって取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

寺地委員長 続きまして教育民生常任委員長、お願いします。

浦木委員長 ①国民健康保険及び介護保険について。(資料を基に説明)最初に7ページには、今現在行政が取り組んでいる一部の内容であり、取り組んでいる内容について委員会で報告を受け論議してきた。この中で我々が一番注視したのは、医療費の動向で、論議が白熱した。厳しい国保会計の状況を住民の皆様にはいち早くお知らせする必要があるという事で、行政の方が今月の町報の中に、医療費の削減に御協力をという内容で1ページを使ってお知らせした。我々としても、この会でこの問題を報告事項の一つとして取り上げた。6ページの下の方の棒グラフは、被保険者の数。折線グラフは一人あたりの医療費。被保険者数は年々減っている。人口減に比例して減ってきているが、24年度にポッと上がっている。これは、24年度に団塊世代が会社を辞められて、協会健保から国民健康保険に移られたことによって、24年度が増えたという事。被保険者数は減ってきていて、一人あたりの診療費は24年度からどんどん上がってきている。こういったことによって大変厳しい国保会計になっている。我々が行政の方から説明を受けた内容ですが、平成28年度の見込として、6,400万円の不足が生じるだろうと。大きな原因として、1番目に借入金の償還が始まること。2番目に退職医療、退職医療の一人あたりに対する国の交付金が多かったが、その制度が4月から打ち止めになった。これにより、交付金が減ってくるということ。それから、3番目に繰越金が見込まれないこと。この3点の理由により、不足額をカバーすることができないという事で、国民健康保険税を上げなくてはならないんじゃないかという説明を受けた。我々もそれに対して、行政の考える通りにやってくださいと言うわけにはならない。今年度は介護保険料が上がり、国保税も本来ならば上げないといけない状況になるが、二つを同時に上げてしまったら住民の皆さんの負担がかぶさってしまうという事を、執行部の方も考えて、今年度は国保税を上げることに對しては、町が頑張らずに上げて来年度にという状況で進んでいる。もう一つ大事なのは、医療費を少なくしたら国保税のアップ率が少なくなる。医療費を少なくしようと思ったら、健診、ゆりりん健診と言っていますが、受診率を向上させること。健康増進のための、ウォーキングとか健康体操とかを積極的にやっていただいて、健康維持をしていただけたら、少しでも医療費の削減につながるのではないかと、我々、行政と一致し、積極的に取り組もうということ。健診率の問題だが、4、5年前に国が、4、5年先には受診率を50%に持って行きたいと、50%にならない自治体にはペナルティをかけるという事も言っていたが、全国的に見て達成できる市町村が少なかったかどうか分かりませんが、ペナルティはなくなった。ただ、湯梨浜町の受診率が、去年は25.3から25.7%で、目標の50%の半分しか健診を受けておられない状況。我々も受

診をしてもらえるよう積極的に取り組んでいき、それがイコール国保税のアップを抑えるということなので、御協力をよろしくお願いいたします。次に②新中学校建設の進捗状況について。(資料を基に説明) この問題については、地元住民の皆さんのご支援ご協力によって順調に工事が進んでいる。先日新聞に出て御存知だと思いますが、地質調査でボーリングしたときに、メタンガスが発生した。その後ずっと調査をしてきた。現在メタンガスの発生はほとんどなく、ポコポコという程度。メタンガスは、人体には無害で本来燃料に使われるガスなので、心配なさらずにいていただければと思います。その中で論議してきたことは、配置図の検討。執行部から2案提示された。グラウンドの広さ、近隣の住宅棟に迷惑あるいは被害を与えるような配置ではないか、駐車場の場所がおかしいのではとか。もう一点が、給食センターの場所が、給食センターから教室までの距離が長すぎる、これは毎日の事なので考えなくてはいけないのではないかという意見が出て、考えた末に、お手元に配付してある資料の配置図を委員会として了解した。次に、開校準備委員会が立ち上げてある。当初は21人の委員がいて、女性が一人だったので、女性が少ない、もっと女性を登用するべきだと意見が出た。当て職の人が多く、その当て職の人が役をやめてしまったら、委員会のメンバーも外れてしまうという事になったら、3年続く委員会がスムーズに行かないのではないかとこの意見もあり、なるべくずっと委員でおられるような方を選出させていただきたいと意見を出した。準備委員会の中に4つの部会が作っており、総務部会とか安全指導部会、学校教育部会、PTA組織部会があり、通学路の問題、学校行事、校章、校歌、こういったことについては、部会で徹底的にこれから2年3年かけてやっていくという事なので、我々はその委員会の動向を注視し、住民の意見を聞きながら、物申すときは物申していきたいという事で進んでいる。委員会メンバーは21人から、女性が少ないという事で、追加という事で30人のメンバーになった。男女別でいくと、男性20、女性10という事です。女性の人が多く応募されたという事で、委員会としてがんばっていただきたいと考えている。以上です。

寺地委員長 続きまして、議会広報常任委員長お願いいたします。

濱中委員長 ①議会広報の活動状況について。(資料を基に説明) 報告というよりは、ゆりたま議会の編集方法とか、どういう事をやっているかという事の報告になります。12ページを見ていただくと、議会だよりの表紙が出ているが、11月1日に発行した一番新しい議会だよりの表紙。編集理念として、読んでみたくなる紙面にすること、議会だよりにしかない情報を載せること、住民目線で読みやすい内容にすること、会議録や活動報告ではなく情報誌にすること。1番目の読んでみたくなる紙面は、インパクトのある表紙という事で、なるべく人物を表紙にしている。全面写真にして、インパクトのある表紙にしている。見出しについては、皆さんが見たくなるような見出しを考えて載せている。2番目の議会だよりにしかない情報を載せることという事で、行政の方で町報があるが、議会だよりで議会を目線で編集をして載せるようにしている。読みやすい内容にすることという事です。余白、簡潔な文章に心がけている。あと、総務産業常任委員会、教育民生常任委員会の審議内容を録画して、町のホームページで配信している。こちらを見ていただくと、白熱した議論をやっているのが見ていただけれると思うので、ぜひご覧ください。14ペ

ージには、自慢ではないですけど、今年の鳥取県議会広報コンクールにおいて、最優秀写真賞をいただいた。これを機会にもっと努力をしながら皆さんに読んでいただけるような議会だよりにしていきたいと思いますので、今後もよろしくお願いします。以上です。

寺地委員長 それでは、ただいまの各委員長の報告につきまして、若干質問時間をもうけたいと思いますので、質問等がある方は、質問していただければと思います。

住民 総務産業常任委員会の所で、二つ聞きたい。一つは、耕作放棄地が歯止めがかかったと聞いたが、面積は増えていないということか。それから、おもてなしについて、オリンピック誘致の関係もあり全国的に話題になっているが、抽象的な言葉で、どうしたらいいのか、動作や言葉づかいや、どういう指摘があつてどう考えるか。



入江委員長 耕作放棄地の手立てができたというのは、50ha について、空いてしまうところについて手立てができたという話であって、町内全域を見たときに全部網羅するところ、全然放棄地がないような状況になるということではない。言葉足らずだったかもしれないが、ただ砂丘地、浜地においても、見られたことがあるかもしれませんが、耕作放棄地が結構ある。その取り組みは、今後琴浦にあるチュウブさんが芝にも取り組んでいくという事で、放棄地の解消に向けて少し動いていかれると思う。御指摘のように、なかなか大変なことであり、本来ですと自分の先祖から受け継いだ土地は、なんとか自分の所で守るんだという事で、一人一人がそういう意識の中でやっていただければ、耕作放棄地はなくなるが、な

かなかそういう状況でもない。その中で、先ほどから申し上げましたように、集団農業法人を立ち上げたり、新しい法人を立ち上げてもらったり、町内で賄えないところは、近隣の市町からでも来ていただきながら、土地が荒れないようにということを念頭に置きながら整備を進めている。それぞれの集落の中で法人化がどんどんできたら、早く耕作放棄地解消ができると思うが、なかなか難しい状況はあろうかと思う。全般的に高齢化が進んでいるので、今担っていただいている組織も、近い将来1人欠け2人欠けしていくと、組織の衰退もあったり、次は誰が担うんだという事もあろうかと思う。これはみんなで取り組んでいかななくてはならない事案だと思う。湯梨浜は観光もだが、農業の町でもあり、大事な産業であるので、ぜひ一緒になって取り組んでいきたい。

それから、おもてなしの事をお話されました。水明荘について、おもてなしで足りない部分は、皆さんがよく言われることだが、サービス業として当たり前のことができていないこと。奥にフロントがあるが、これは構造上大失敗だと思っている。まず見えないので、見えなかったら前を出てきてお客様を迎える、いらっしゃいませ、ようこそお越しくださいました、当たり前のことですよね、サービス業でなくても。本来だったら、お泊りでしょうか、お風呂ですかとか、そういう事をやるコンシェルジュ的な人も必要なのかもしれない。基本的に、どの職員もその辺のことを当然のようにするという事が、まず水明荘には欠けている。これは、何年も常任委員会も指摘をしている。民間からも経験者を迎えながらしているが、その方にいろんな権限が十分に与えられていないので、なかなか改善が図れないところもある。執行部にも話をしているが、抜本的に権限を与えてみんなで変えていかないと、50年を経過した、全国での国民宿舎第1号の風光明媚な水明荘でありながら、経営が立ち行かなくなるのではないかと毎年言っている。3年くらいを目途に、ちょうど平成31年までが償還金の期限である。毎年8,300万円くらいを返しているが、そのころになると、大規模な改修、設備の改修も出てくる可能性もある。その辺のことも含めて、考えていかなければ、公設の国民宿舎というだけであって、そこにどんどん税金を投下していくのであれば、民を圧迫するだけの組織になってしまうと考えているので、ここ3年が勝負だと思っている。我々も、執行部、水明荘と一緒に大鉦を振ってやっていかないと改善されていかないと考えている。

寺地委員長 よろしいでしょうか。その他ございませんでしょうか。

住民 国保の説明をされたが、平成24年度から25年度にかけて、1人当たりの診療費が上がっている。それはどういうことが原因なのか。

浦木委員長 これは、その年によって、先進医療の必要な方が一人でもおられたら、グッと上がる可能性がある。この年は、そういった方が何人かおられたと聞いている。

住民 その辺をきちんと検証して、なるべく医療費を抑えてもらうような形を考えていかなければならないが、お金がかかるのは分かるけど、いい方策がないのか検討してほしいと思う。

浦木委員長 十分我々もそのことは認識しておりますし、委員会の中の重要な論議の一つとなっている。しかしこれは、医療費が上がる原因の一つであり、全部ではありませんので、それは誤解されませんようお願いいたします。

住民 もう一つ。中学校のメタンガスはボーリングを何か所かしているが、そこからは出ていな

いのか。

- 浦木委員長 気泡の程度で、出ているのは1か所か2か所で、ほとんど出ていない。
- 住民 ガスと聞くと心配になる。引火性でしょう。もし何かあった時に心配があるので、今後工事が進んで、いい加減なところまで来たときに、杭打ちした時に出てきたという事が一番困るのと思うので、そういうことはほんとにありえないのか心配している。
- 浦木委員長 確かにガスと聞いたら心配されると思う。どういう成分どういうものかを、皆さんに絶えずお知らせすることを徹底してやっているつもりだが、これからも続けていきたいと思う。
- 議長 若干補足します。ボーリング調査の本数が限定的だった。その話を受けたときに、執行部と話をしたが、本数が少なすぎると。ガスが出たとなると、本当に安全なのかと。それで本数を当初より倍近く増やした。執行部は工事に入っても、ガスが抜ける状態は作ると。100%無いとは言い切れないので、ガス抜きは当然やる方向で工事に入ると確認している。そういうリスクは避けているつもりである。
- 住民 私はここに来てそれを聞いたので、安心する部分はあるが、ここに来てない人は御存知ないという事は、心配しておられる方のほうが多いと思う。安心してもらえるように周知することが必要だと思う。
- 議長 どうやって速やかに住民に伝えるかを執行部に言っている。今日も執行部が聞いておられるので、速やかに対処されるだろうと思います。
- 浦木委員長 一点だけ追加させていただく。開校時期が、平成32年の4月予定だったが、平成31年4月に開校という事です。
- 寺地委員長 その他ございませんか。
- 住民 健診の割合が25.3~25.7%で推移しているというのは、湯梨浜町の方でいいでしょうか。県では市町村で何番目か。全国からすると低い位置にあたるのか、どれくらいの位置にあるのか。今の状況がどのあたりの順位なのか。
- 浦木委員長 はっきりわからないので後で報告します。
- 住民 低い位置にあるなら、健診率の高いところがどのようなやり方をしているのか、視察等を考えてもらえたらと思う。前向きな検討を。医療費が一番お金がかかると思うので、よろしくをお願いします。
- 浦木委員長 担当課も我々もこのことに対しては、慎重に前向きにとらまえて動いている。いかにして、健診率を上げようかと。地域の保健推進委員の方も頑張っておられるが、なかなか浸透しない。先進地視察して勉強して取り入れていきたい。
- 寺地委員長 いろいろと問題が出てきているが、執行部との兼ね合いがある件については、執行部と協議して、何らかの形で皆様方にお返しをしたい。基本的には議会広報で今日伺ったご意見に対して回答をしていきたい。そのほかございませんでしょうか。
- 住民 要望を。録画中継がホームページにあります。今日見ていたら、6月の分かな、3か月くらいタイムラグがありリアルタイムではない。折角なので、もうちょっと早くアップしてもらった方がありがたいというのが要望です。もう一点は、水明荘について。売上げに対して支出、単純な発想なので、宿泊客を20万人しようと地方創生の中にありますね。従って存続させるための条件があって、それに対する施策があって、それを誰がやるんだという

のが見えない。支配人の問題じゃない気がする。町長クラスを責任者に据えて達成しなさいぐらいのことをしないと。地方創生でやらないかん、宿泊客が20万人と書いてあるってことは、存続させるための条件があって、その施策を考えて誰が責任者でやりなさいとしないと。存続する割には、誰がどう動いているか見えない。もしもこれをやって駄目だったとなると、ひょっとしたら駄目かもしれないが、そこまでやってもいいんじゃないかと思ったり。そこら辺をもうちょっと検討してほしいという要望です。回答はいいです。

寺地委員長 そのほかございませんか。

住民 高速道路はもう決定なのか。何年が目途か。あと要望だが、中学校建設について、旭化成の杭打ち問題もあったりして、北浜中学校も建設当時足らなかったんじゃないかということもあったりして、施工管理を行政はちゃんとやられると思うが、議会の方もしっかり見てほしい。

入江委員長 山陰道は、一回事業から落ちた計画で、それがやっと交通事故等があって、交通安全対策の予算がまず付いて、それが出発になって復活したため、これから環境アセスメントとかで2、3年かかってくると思う。その間に予算をどうやって獲得していくかとかがあるかと思う。1日も早く和我々も願っており、働きかけるが、今の段階で何年には整備が完了するということは、まだお話しできない。逐次情報が入ったら皆さんの方にフィードバックできるようにしたい。

議長 バイパスについては、県土整備局から10月に説明を受けた。11月に意見を聞く会を立ち上げる。11月中旬に1回目の会を開き、3本くらいルートを提示し、そのときに湯梨浜町のまちづくりの方向性の確認をしていくと。1月、2回目、3回目を3月ごろにして概略ルートを固めていきたいというのが、おおまかな内容。28年度に都市計画の審議会が始まる。ルートを選定してすぐにかかるものでないので、まだまだ協議が必要になってくる。

寺地委員長 その他ございませんでしょうか。それでは時間も押しておりますので、続きまして、湯梨浜創生に向けてをテーマにして、意見交換ができればと思います。昨年5月に日本創成会議の増田さんが、消滅可能性都市896という事で、かなり刺激的にセンセーショナルにあげられた。そうした問題提起を受けまして、国のほうが、まち・ひと・しごと創生法を策定し、その戦略、長期ビジョンを示して総合的に取り組むこととしたところであります。本町も10月に、湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略、湯梨浜町人口ビジョンの作成をした。今後これらの目標に向けて、具体的な施策として、取り組んで行くという事になる。議会として、皆さんの御意見等を参考にさせていただきたいと考えている。進行は、会見副議長が行いますので、よろしくお願いいたします。

副議長 大変大きなテーマでございます。湯梨浜町の将来を考えながら、地方創生の、ひと・まち・しごと創生総合戦略という事で、話を進めて参ります。皆さんが日頃思っておられることを、どんなことでも結構です。今日のこの場で、意見を聞かせていただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。最初に、人口減という事から、この問題が発展してきた。その中で、米子市、鳥取市は人口が減りながらも存続するであろう。湯梨浜町と日吉津村は、小さい町ながらも子どもの数はそう減っていない、増えているという状況。でも、消滅していくような町もあるんだと、はっきりと数値的に出ると、どこもがびっくりして、

自分の町は大丈夫かという事で、地方創生に対して、いろんな町村で取り組んでいるのが現状。その中で湯梨浜町が、いろいろな戦略を立てているので、それに対して皆さんにお知らせしながら進めてまいりたい。先ほど話があったが、3本の大きな柱がある。重点的に考えておられることですが、まずは基本目標のⅠ、活力ある元気なまち、を作っていこうという事。2番目に、安心して暮らせるまち、こちらの方には子育て支援とか、子どもの成長にしたがって教育の問題、十分安心して暮らしていくという事。3つ目に、町民みんなが創るまち、こちらのほうを重点的に取り組んでいこうという事で、いろいろな問題が取り上げられている。皆様方の中で、どんなまちづくりをするかという事で、意見がございましたら、お知らせ願いたいと思います。

住民

基本目標の、地域経済の持続と発展のためのしごとについて。例えば、泊は海と漁業の町で、養殖とか研究施設もあるが、それらを活かして、県外から漁業を目標として来てもらえるような施策を考えていただけたらと思う。例えば、船を1艘提供するから定住してもらえないかとか、家を一軒あげるから漁業をやってもらえないかとか、そういうようなことを、日本全国に対して働きかけたらどうかと思う。今、仕事がなく困っている人がいると思う。鳥取県みたいな小さいところには来ないかも分からないが、来れるような考え方がありはしないかと思うので、考えてもらえたらと。

それから、東郷湖を中心として、東郷は温泉あり山ありで、山は荒れてますよね。松の木とか、雑木とかを掃除してくれる人を雇えばいいのでは。下草刈りの公務員として雇ったらどうかと思う。下草刈りやってもらったり、枝を落したり、梨の剪定、梨を作ってもらってもいい、例えば果樹園でも。旅館がだいぶ減ってきているが、旅館の再生をやりたいものがないのだろうか、全国に問いかけてみたらどうだろうかと思う。羽合は、農業が平坦地で、米、大豆をやっている。あわせて、観光業もやっていける。観光についても、鳥取県のハワイに来れば免税店があるとか、買い物に何かできないかと思う。例えば、家を提供しながら、お金をもらうんじゃなくて、与えるから何年住んでくれと。住んでもらったら、税金が入るんですから。そのようなことも考えてもらって、全国に対してやってもらったらと思う。議会の方もそういう事をするわけじゃないので、行政にさせるので、何かの町の法律を決めてかかればいいのではないか。エリアエリアで特徴があるので、やってもらったらどうかと思う。

副議長

たくさんの夢のある話をいただきました。いま確かに取り組んでいる部分もあります。

入江委員長

泊地区は陸上養殖が進んでおり、県の栽培漁業センターと組んで、新しいモノづくり、ウマヅラハギを飼うようにして、それが上手くいけば、ヒラメ等もやっておられるが、今度は旅館と組んで鍋のシーズンにカワハギの肝を利用したような名物を作っていこうという構想もあるようです。その辺は我々も応援したいと思っている。それから漁業者の問題。以前県の漁協とかで話があり、県外から来て、船を与えて漁業者として実際にやっている方もある。何でも一回やってその限りで終わったら、事業としての継続性がない。御指摘いただいたような、いいものを次々予算立てもしながらしていくのが大事だと思う。もう一度行政と一緒にやってそういうことを考えていきたいと思う。東郷の山の整備は、個人の所有地もあるし、一篇に提案されたことがどうなるか分からないが、梨の荒廃地につい

ては、今回予算をつけて、センコースクールファームさんが、やめられる梨農家さんと一緒になって、その梨園を作っていく事業が始まった。いい結果が出れば、ますますそのような手法を使って広げていったらどうかなと思っている。それから、温泉のことも言われました。新聞等で御存知のように温泉熱を利用した事業をやっている。2次利用の中で、予算がついて、龍鳳閣、水明荘に配湯して、シャワーで使ったりする。それとは別に、それを使った農業、ハウスとかに温泉熱を利用するようなことが今後考えられるんじゃないかと思っている。その辺について行政も考えているが、一緒になっていろいろなことを、先進地に学んで、提案、提言ができるような、一緒になって取組みができるようなことをしていけたらなと思っている。いろいろと貴重な意見をありがとうございました。

住民

あちこち旅をする機会がある。この前吉野ヶ里に行ったら、ボランティアガイドさんがおられて、非常に懇切丁寧に、知識も豊富ですし、質問したらさっと答えられた。最近米子で、中国 5 県の人が集まって一泊二日のツアーをした。そのときもガイドさんが、どういう形か分からないが、妻木晩田とかそれぞれの所でガイドさんが出てこられた。話し方も上手、知識も豊富、どんな質問でもだいたい答えられた。たたらの方に行くと、ガイドさんがおられた。どういうふうに手当とか支給されているのか分からないが、ああいうのを見ていると、中部地区全体になるかもしれないが。県外から友達が来て、長瀬高浜古墳を見たいと言い、歴史民俗資料館に連れて行くが、中に入っても説明する人がいない。馬の山の風土記館もいい施設だが、誰に聞けばいいのか全く分からない。宝の持ち腐れになっていると思う。三朝だとか倉吉にもいろいろあるが、グループでボランティアガイドの人たちを養成して、適切な説明をしていくという態勢を考えてみてはどうか。

浦木委員長

湯梨浜町にもボランティアガイド、有償ガイドの育成に取り組んでいるのと同時に登録もやっており、努力をしている。実際にガイドの人の意見を聞いたが、絶えずお客さんがいればいいが、一週間に 1 回とか十日に 1 回に来られるお客さんに、どこかに待機しているのは大変であると聞いたことがある。連絡を取って、その人がすぐ駆けつけてガイドをするという事も大切だと思うが、なかなか時間の融通が利かないのがネックだということも聞いたことがある。

住民

そういう事は分かるが、米子は複数で登録して、都合のつく人が自宅から連絡を受けて、当日でなく前日とかにすると、誰かが融通し合って担当すると。無料だったが、どこで手当てをもらうのか心配になる。とてもよく研究、勉強しておられる。一人じゃないから、普段は自宅におられて、連絡を受けて都合のつく人がどこにでも入れる形で動いている先例があるので、研究していくといいのではないか。

議長

今おっしゃったことで、ボランティアガイドも含めて、中部広域連合があり、その中で、観光は梨の花温泉郷という組織体があり、1市4町の全般的な観光を担っている。ところが、そこがあまり機能してないという事もある。日本版DMOの話になってくるが、広域観光をもう一回きちっとせないかんと。広域観光というのは今おっしゃったように、西部圏は西部圏で一つの核としてやっている。中部圏は、そういう取り組みも含めて非常に弱い。ようやく、もう一回広域観光という考え方の中で、組織を法人化して観光の登録をしてできるような組織体にしようと思われながらも進みつつある。湯梨浜だけでやっても伸びしろ

がないという事で、行政体も、創生を含めて向かおうとしているので、その辺のところを見ておいていただければ。早急にすぐ改善できることは行政の方と、打てる手は打てる手として、お話を聞いたことは行政と詰めてみたいと思う。一方ではそういう大きな流れがいつているという事を御理解いただければと思います。

住民

今の関連だが、ガイドにも二種類あると思う。観光客相手にしたガイドと、最近多いのは橋津藩倉とか馬の山古墳もそうだが、生涯学習活動をやっておられる方のガイド。そういう方は非常に勉強して来られるし、慣れておられ、知識も豊富。そういう人を相手にするガイド役が必要だと思う。それが湯梨浜町には欠けている。これは広域では駄目。中部全体を分かっている人はほとんどいない。湯梨浜町の歴史遺産、文化財に関して非常に詳しいと、湯梨浜町のことは任せてくれと、むしろこれは広域でなく狭いエリアで、生涯学習活動とか、良く勉強された人に対してガイドするという二種類あると思う。浦木さんが言われたように、観光ガイドが立ち上がってやってるが、もう一方の生涯学習活動とかの方へのガイド役が足りないと思う。20ページで、文化資源の活用による地域振興とある。湯梨浜町には歴史遺産、文化財もたくさんある。なぜこういうことに活かさないのか。K P Iの項目を見ると、具体的に何も書かれていない。たまたまT C Cを見ていたら、議会の答弁があり、天女のふる里づくりの中で、企画課長が天女を小学生に勉強させるために副読本を作りたいと言われたが、それに対して、議員さんは何も反応がなかったが、実際にそういうことを考えられているのか。天女の副読本を作るより、まちの文化財、歴史に関する副読本を作った方がよっぽどいい。なぜその辺りのことが分からないのかなど。議員さんの反応がなかったから、容認されたのかなど。もうちょっと町の歴史遺産、文化財を尊重した、よそにはないものを活かしたまちづくりをぜひ考えてほしい。

副議長

私も、羽合の埴輪の話聞いて、素晴らしいものがあるのにどうして活かされてないのかなど。東郷にも古墳があり、訪ねてくる方もある。そういうものを大事にして、観光に結び付けるといことはあってもいいと思う。

住民

もう一点。前の議会で、松岡議員さんが、文化的景観の質問があった。それに対して、町長は検討するという答弁だった。その後のフォローはどうなっているのか。検討されて、やることになったのか、まだ検討中なのか。議会で質問されるのは結構だが、その後のフォローを、どういうことになっているのかという辺りを、もうちょっとつめてもらいたい。一回の質問でなく、この前言った話はどうなっているのかという形での。文化的景観に関しては、その後どうなっているのか。

議長

その話は、教育委員会とリンクする。教育委員会と十分話をしたい。議会の方が、その後どうしたんだと言われれば、今こうやってますとズバツと言えないところがあるので、十分に行政、教育委員会の方とも、つめてみたいと思っている。

住民

もう一つ。この前、町長と語る会で、二つ提案した。一つは、湯梨浜町のホームページがあまりにもよくない。つぎはぎだらけというか、統一性がない。中身を見ると、歴史遺産、文化財に対する配慮、整理ができてない。指摘したのは、歴史の項目の中に海水浴場が入っている。これは歴史じゃないですよ。しかも海水浴場という項目はある。ダブって歴史に中に入れてあるのはなぜでしょうか。これは3年前の文化財保護委員会の中で指摘

して、企画課の職員にも指摘しておかしいですよと言って、直ってないから、町長と語る会でも言ったが、あれから何か月も経っているのに全く直ってない。私もホームページ立ち上げているが、5分もあればできる。それができないのはどういう事なのか。I J Uターンを促進するとあるが、こういう方がまず見られるのは町のホームページ。どう魅力的な町なのか、暮らしやすい町なのか、一番最初のとっかかりの所で、こういうホームページだと問題がある。議員さんも、町のホームページをじっくり見ていただいて、他市町村の、例えば北栄とか倉吉とか三朝と比べてほしい。北栄のホームページをよく見るが、スッキリしている。町長の部屋があって、町長の交際費も毎月出ている。別にそういうのを出してくれというわけではなくて、情報公開というのはそういう事だと思う。昔の議会のことを逐一貼り付けて、もうそんなのは終わってしまっているから取ってしまってもいいのに、まだまだ昔のものが残っていると。一度ホームページをスッキリやって、せめて北栄町とかと同等くらいにしてほしいと思う。もう1点は、日本遺産に挑戦されたらと言った。一か月前、由良台場フォーラムで、松本町長が、由良の台場を日本遺産に挑戦すると言われた。湯梨浜町も歴史遺産、文化財も豊富であり、湯梨浜も日本遺産に挑戦できますよと話したが、何もない。天女伝説もいいんでしょうけど、湯梨浜町独自のことを考えていただいて、夢のある施策もやってほしい。

住民

これから日本の人口が減っていく中で、旅館業と介護施設について質問する。旅館業は、宴会で騒いで、2次会でカラオケに行くような時代は今後減っていくと思う。東郷湖の周り見ると、最近増えているのが介護施設。温泉と介護施設と医療の関係、あと考えられるのは、温泉を利用するお客さん、結局家族的な雰囲気求めて来られると思うが、この近辺にそういうのがない。それを行政から指導していただいて。これからの温泉というのは、医療と介護と健康、スポーツジムの関係と、グローバル化が進む中で、例えば、中国の富裕層が来るような雰囲気とか。ベトナム、インドネシアとかのお客さんも来られるような。例えば、冬の景色を彼らは喜ぶと思う。そういう考え方はないのか。

議長

まだ詰めが出来ていなくて漠然としているが、C C R C構想、つまりおっしゃるようなことの構想を、現在鳥取県が進めようとしているが、その中で一部湯梨浜が向かおうとしている。ずれますけども、空き家対策とかそういうものも含めて、どうやって外から呼び込むかと。これは、観光ともリンクするんだらうと。概要がまだ説明しきれない状況だが、町は早い時期につめていくという考え方を持っている。議会もいろいろ意見を言いながら、進めているのが現状。

住民

老人問題はないのか。Iターン、Uターンとかの話はどこでもやっていることだし、一番手っ取り早いし、聞こえはいいが、老人を有効に活躍していただける場の提供の施策が必要じゃないかなと。だんだん増えてきますし、医療費が増えて困ると言われるが、活躍してはつらつと生きていかれる方法を考えてあげることが、地域創生についても医療費削減にもいいと思うが、この中には1項目もない。地域にあるものをもっと有効に使うということが地方創生の原点。そのあたりでいっぱいある、死んでいる資源が。人的資源にしても、文化的資源にしても。これらがもう少しできるようなことを、新しいものということでもいいが、あるものがもう少し、老人問題であるとか地域の資源というのは、町長さんがよ

く言っておられるように、子どもにふるさとに誇りが持てるってというようなことを言っておられるが、何をもちて誇りかというのが良くわからない部分がある。

議長

CCRC構想は、外から来る人のためにやるという考え方が一つと、元々地元におられる人も、高齢になっていく人たちが生き生きとできるかというのがこの構想の中に、はまってきている。まだ構想が漠然としていて、今日お話しさせてもらうことも、議会側が全部わかっているかという話になると、まだ形を作り上げようとしている段階であり、今日はそれ以上のことは言えませんが。もう一つは、なぜ地方創生が総合計画とは別個にできたかと言えば、総合計画はPDCAサイクル、つまり目標値を設定するわけではなくて、単なる努力目標が書いてある。それではどうにもならないだろうと、あえて5年間の限定に切られたというのは、目標を全部設定しなさいと、そういう目標が設定できるかどうか検証をかけなさいと、その5年間を国が全部チェックかけると言ってきている。それで限定的に項目的に絞り上げていっているというのがあるので、その辺が総合計画とリンクしない部分もあるし、限定的に5年間という枠の中で捉えているところがあるので、理解をしていきたいなというのがある。

浦木委員長

委員会でも介護や高齢者福祉については、かなり論議している。健康な高齢者に対する話は確かに少なかった。そこは、今言われたように勉強しながら委員会としてももう少し時間をかけて、論議したいと思っているので、ご了解願いたい。

住民

グラウンドゴルフをしたり、ウォーキングして運動されることもいいが、ただもう少し生産的な仕事を与えてあげればいいと思う。

住民

敬老会の参加を呼ぶときに障がい者の方をどのようにフォローしていくか。車いすの方のフォローがあればと。それから、人権教育研究推進員の関係ですが、費用対効果等々で、事業費で参加人数が重んじられている。ところが研究推進員は12名。研究会をしても8名の参加という時に、講師料が8,000円です。非常に効率が悪いということで、だんだん研修会が減ってきている。でも、あらゆる差別をなくする会とか総合計画を見ると、非常に大事であると。研究推進員が他の委員と横並びに人数が少ないだけではなく、もう少し社会教育のほうで勉強、町民課においても一緒に推進の係なので、ぜひとも何とかかならないかなと思っている。湯梨浜町では、思いやり駐車場で明るい町づくりを取り組んでいるが、町全体になかなか広がらず苦勞している。これは、ほかの町村でも県でも国でもやっていないと思う。思いやり駐車場で明るいまちづくりというのは、元気なものがそのスペースに停めないという、たったこれだけの運動。県がやっているのは、申請して許可証をもらってというもの。ぜひとも議会でもその後押しをしてほしい。

浦木委員長

敬老会の分は、現在区長さんとか部落の人にお任せで、どういう格好かというのを直接聞いていないので分からないので、担当課に確認してご返事させていただく。研究推進員の費用対効果のことは、そのことによって会が減っているのは非常に残念。研究推進員の方が最低活動できるような会が持てるようには努力、助言していきたいと思う。ハートフルマークだと思いますが、障がい者の駐車場の件。

住民

ハートフルは県がやっている事業で、全く別です。障がいの方が役場に申請して、許可証をもらって停車をする。うちの場合は、元気なものがそこに停めないという逆の発想で、

手続きも何もいらないわけで、自分の心の問題としてということ。あまり強くいってしまうと障がいの人って簡単に言うが、実際には外見ではわからない人がある。妊婦さんとか、心臓が悪いとか、耳が聞こえないとかいろいろあるので、そうじゃなくて、うちの場合は、元気なものが停めないと、非常にシンプルな運動です。町全体の事業になればと思っている。

浦木委員長 その件に関して、教育委員長にも申し入れをして、当然知っておられました。そのことには積極的に推進したいと教育長も言っておられた。

副議長 御意見たくさんあると思いますが、ぜひ提言書のほうに書いてまた出してください。

寺地委員長 まだまだ御意見があろうかと思いますが、時間となりました。本日伺った質問とか御意見等お答えできなかった点がありましたが、これについては、また後日、委員会、全員協議会で審査検討し、執行部とも協議をしながら議会だより等で皆さん方の方にお返しをさせていただきます。また、湯梨浜町議会意見交換会実施要綱を作っており、集落、各種団体から開催の申込みがあれば、議運で協議の上という事になるが、議会事務局の方にお申込みいただければ対応していきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。長時間にわたりましてありがとうございました。それでは、会見副議長が閉会の御挨拶を申し上げます。

副議長 (あいさつ) みなさんから豊富な意見を出していただきましてありがとうございます。ますます湯梨浜町が住みやすいまちになりますように頑張ってもらいますので、これからも意見がございましたらおっしゃっていただきまして、いい町にしていきたいと思っております。本日はありがとうございました。

【閉会時間 午後9時02分】